

アートはかがやき 北陸新幹線 福井開業記念
第11回 森の作家展

スイ スイ ス イ
水・粋・酔

2025年1月25日(土)～3月2日(日)

会場／金津創作の森美術館 アートコア

時間／10:00～17:00 (最終入場 16:30)

観覧料／一般 500 円 (400 円)、65 歳以上・
障がい者 250 円、高校生以下・障がい者の
介護者 (当該障がい者 1 人につき 1 人) 無料

※() は 20 人以上の団体料金

みどころ

① 様々な素材でテーマ「水・粋・酔」を表現

5名の森の作家 × 創作活動を通して刺激を受け合う14名の協力作家が、本展のテーマ「水・粋・酔」から着想を得て、陶芸、ガラス、竹、鉄、金属、木、布、絵画、音など異なる素材によって多彩な表現をご覧ください。

みどころ

② 「芦原温泉」×「工芸・アート」

テーマ「水・粋・酔」から「芦原温泉」にも着目し、「芦原温泉」×「工芸・アート」によって温泉文化の魅力が再発見できます。

みどころ

③ 空間全体を楽しめる

照明家 八木則之氏による光と影が織りなす幻想的な展示空間の中で、自由に豊かな発想から広がる「水・粋・酔」の作品世界をお楽しみいただけます。

関連イベント

出展作家によるギャラリートーク

日時：1月25日④ 10:30～11:30
会場：美術館アートコア ミュージアムー1
※要展覧会観覧券

会期中は、上記の他にもコンサートなどのイベントを開催いたします！詳しい内容は金津創作の森ホームページをご覧ください。



《芦づくしのつくばい》
山田 道信 (信雄) (入居作家・竹工芸)



《Drawing on the Vessel #38》
山野 宏 (入居作家・ガラス工芸)



山口 紀子 (入居作家・作曲 / 音空間造形)
岡 俊徳 (建築)

※展示作品イメージ

■出展作家

大森 正人 (入居作家・陶芸)
松井 勝彦 (入居作家・陶芸) × 熊野 九郎右エ門 (陶芸)
山口 紀子 (入居作家・作曲 / 音空間造形) × 河上 知明 (鉄とチタン工芸)
× 岡 俊徳 (建築)
山田 道信 (信雄) (入居作家・竹工芸) × 近藤 辰浩 (水墨画・スケッチ水彩画)
山野 宏 (ガラス工芸) × 伊藤 隆 (金工) × 小野山 和代 (テキスタイル染織)
× 竹原 城文 (日本画) × 山本 善一郎 (版画) × 竹垣 恵子 (テキスタイル染織)
× 齋部 哲夫 (彫刻) × 山田 康貴 / 宮本 千春 (現代美術・香り) × 河合 隆三 (彫刻)
加藤 将司 (現代美術)
八木 則之 (イメージコンポーザー・照明家)

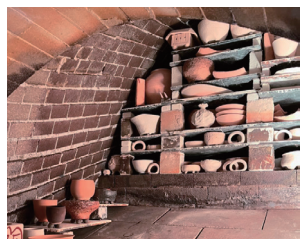
※追悼展示

工房だより

創作工房

「森の窯」窯焚き

11月27日(水)から12月1日(日)まで、薪窯「森の窯」で3回目の窯焚きを行いました。5日間火を絶やさず、薪をくべながら窯の温度を調整し焚いていく大変な作業ですが、焼き上がった作品は自然釉独特の味わい深い仕上がりとなります。薪窯作品の一部は、3月の講座生展で展示予定。



ガラス工房

干支絵付け体験

ガラス工房職員が吹きガラスで1つ1つ手作した「巳」をモチーフにしたオブジェに、マーカーや絵具で着色して完成。自分だけの置物を作ろう。



開催日時 / 11月30日(土)～令和7年1月末までの開館日

10:00～12:00/13:00～15:00/15:00～17:00

定 員 / 各時間帯 1～10人程度 (10人以上の団体も受付可)

※数量限定のため要予約

料 金 / 2,300 円 (1 作品・材料費・税込)

作品受渡 / 当日お持ち帰り

【予約・問い合わせ】ガラス工房 TEL.73-7801

●(公財) 金津創作の森財団 事務局 TEL.73-7800

●休館日 / 月曜日 (祝日の場合開館、翌平日休館)、年末年始 12月29日(日)～2025年1月3日(金)

●森のキッチン・エフ TEL.37-4326

定休日 / 月・火曜日 (祝日の場合営業、翌平日休業)、12月23日(月)～2025年1月24日(金)



芦原中2年生があわら市をPR！

◆10月29日(火) 金沢駅



民生委員、同志と交わす有意義な意見

◆10月31日(木) 北潟公民館



滋賀県守山市中洲学区民生委員児童委員協議会と本市民生委員児童委員協議会連合会による交流会が開催されました。

能登半島地震における災害対応をテーマに、民生委員として取り組んだことやその課題について議論しました。同じ志をもつ民生委員・児童委員が共に学び合うことで、有意義な意見交流会となりました。

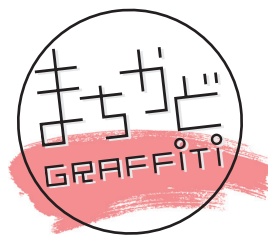
6年ぶり、日中友好の絆

◆11月25日(月) 市役所



あわら市の友好都市である中国浙江省紹興市に派遣する中高生20人の国際交流団壮行式が行われました。12月8日から13日にかけて紹興市人民政府や紹興文理学院附属中学校、魯迅高級中学校を訪問します。紹興市への派遣は2018年以来、6年ぶりとなり、甲斐教育長は「いろいろな経験をし、日中の絆を深めてほしい。」と激励の言葉を送りました。

まちかど graffiti では、広報係が取材した“あわらの話題”をお届けします！



芦原中学校の2年生が自作のパフレットをもとに、金沢駅であわら市をPRしました。生徒会長の川崎 一志さんは「あわら市をとっても魅力的な場所だと思っているが、その魅力を知っている人はあまりいなかった。インターネットやCMだけでなく、直接顔を見て伝えることで、あわら市を今まで以上に知ってもらい、盛り上げていける。」と話してくれました。

インフルエンサーと若手職員が挑戦！

◆11月12日(火) 市内



市の新しい試みとして、地域の魅力をインフルエンサーとともに発信するプロジェクトが始動しました。今回、Instagram フォロワー7万人以上の影響力を持つ長野県出身の「ナガノノ」さんと若手職員が市内の飲食店を取材し、お店の特色や魅力を生き生きと発信するための撮影と編集のポイントを学びました。あわら市の魅力を全国に広めようと奮闘する若手職員の今後にご注目ください。

地元の優れた製造業を学ぶ！

◆11月28日(木) 岩崎工業株式会社



伊井小学校の3・4年生、計24人が地元探検学習として岩崎工業株式会社の工場見学を行いました。岩崎工業株式会社は除雪トラックの製造・販売を行う、国内トップメーカーです。除雪トラックの製造工程を見学し、地元企業の技術に触れ、伊井地区で生まれた除雪トラックが全国で活躍していることを学びました。